

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

山形県寒河江市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	6	-	-	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
40,719	8,569	第2種該当	-	10:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
56	42	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	98
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
56	42	98

**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

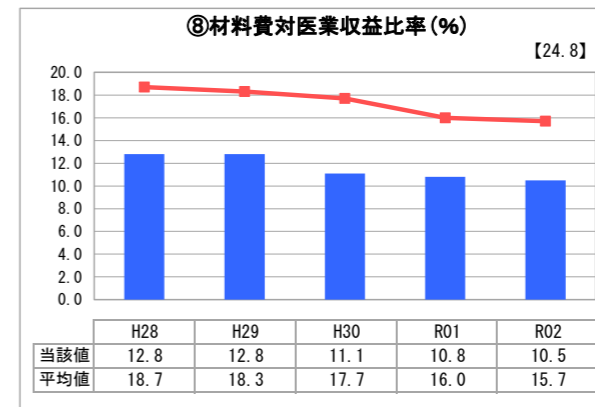
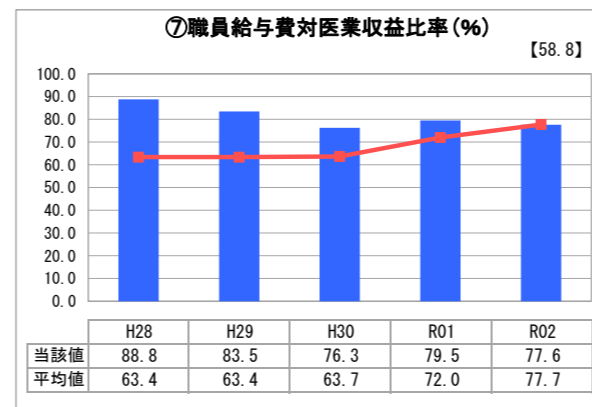
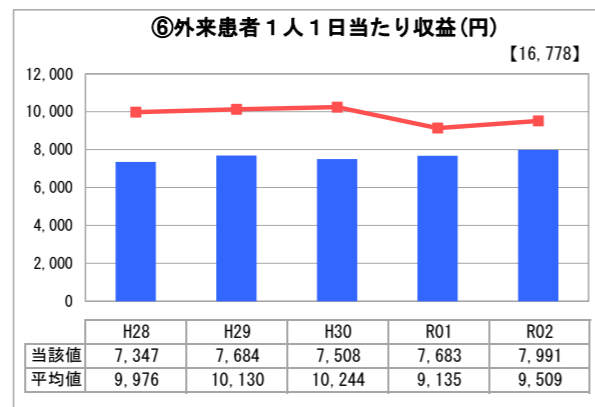
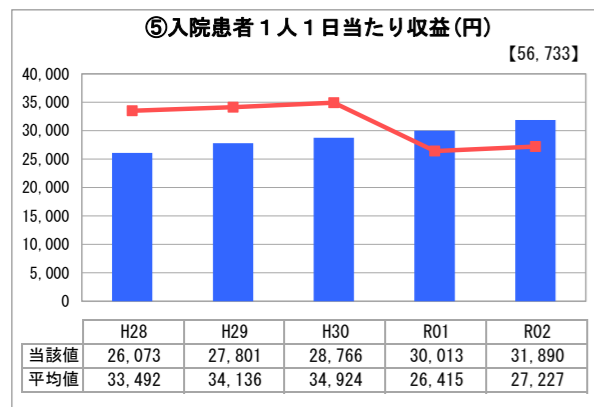
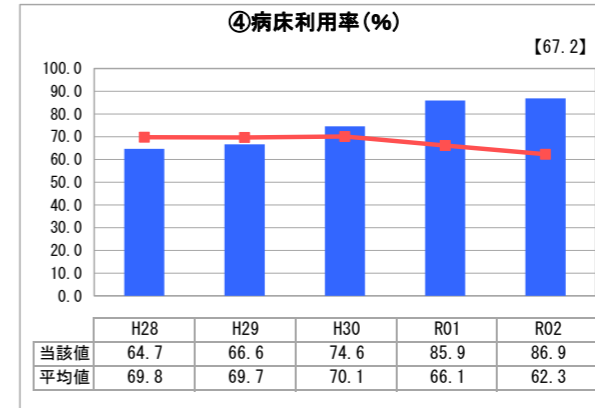
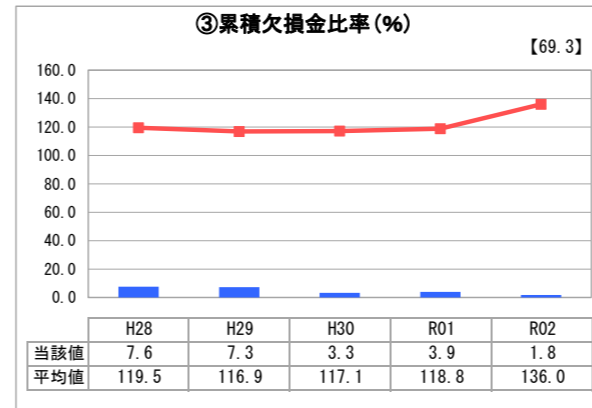
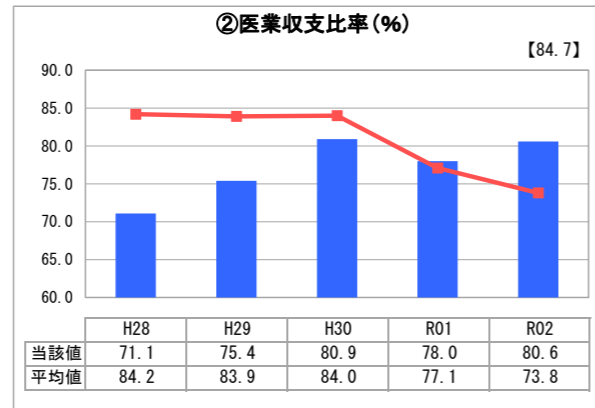
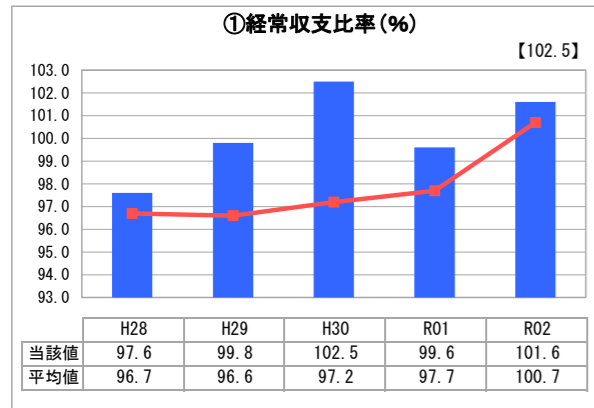
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## 1. 経営の健全性・効率性



## I 地域において担っている役割

寒河江市立病院は休日・夜間の診療や救急医療の提供など、地域医療に大きな役割を果たしている。平成31年4月からは3つの病棟を2つの病棟に再編、病床数を125床（急性期78床・回復期16床・療養31床）から98床（急性期56床・回復期26床・療養16床）へ削減し、経営の効率化を図っている。令和2年度には療養5床を回復期に病床転換。令和2年度末では回復期31床・療養11床とし、経営の効率化を図っている。

## II 分析欄

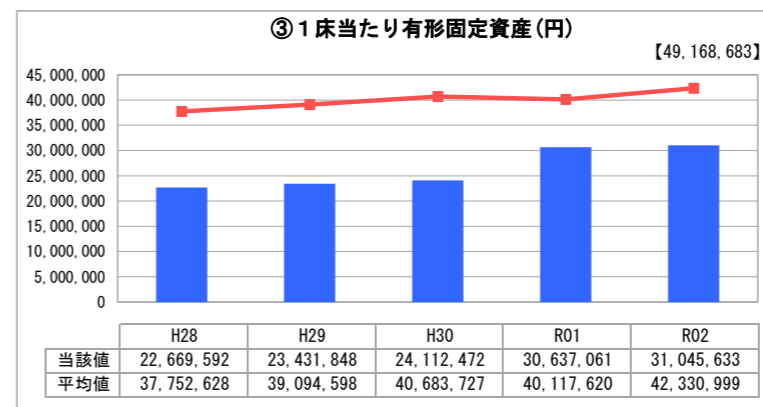
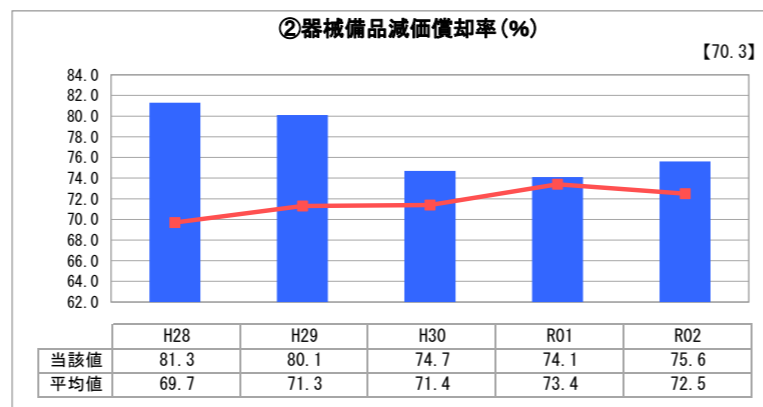
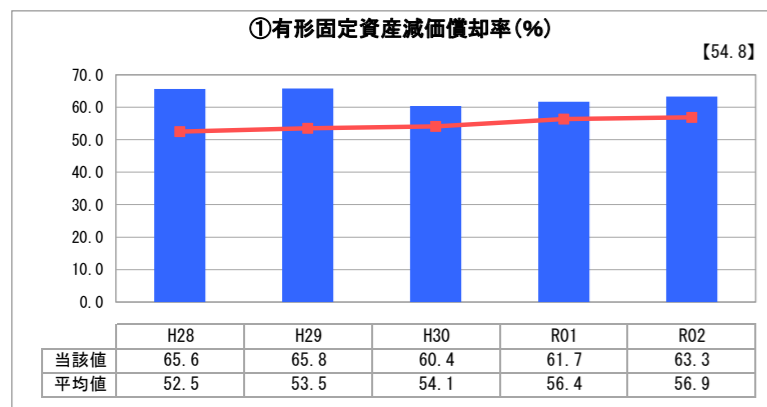
### 1. 経営の健全性・効率性について

多くの指標において、平成30年度までは平均値から大きく乖離しているものが多かったが、令和元年度は125床から98床に病床削減したことにより病床利用率が大きく改善した。令和2年度はコロナウイルスの影響により全国的に医業収支比率は低下しているなか、病床転換の取組により前年度より改善し、医業収支比率や入院患者1人1日当たりの収益は平均値を超えた。職員給与費は年齢構成により高止まりし、経営を圧迫している。今後数年もその状況は続く見込み。

### 2. 老朽化の状況について

昭和47年に建設。今年で築48年となった。水道管や排水管、冷暖房や屋根の防水機能など多くの設備が老朽化しているが、地域医療構想による当院の位置づけが明確になるまでは建物・医療機器ともに最低限の維持補修につとめる。

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

コロナウイルスの影響により、4月5月は診療控えがあり医業収益を押し下げたが、療養から包括への病床転換を図り、収益を改善できた。赤字補てんの繰入金をするため、今後も病床転換により入院収益の改善を図っていく。令和元年度から取り組みの成果が表れ始めた。施設の老朽化に対しては最低限の設備投資により支出を抑えていく。高止まりしている職員給与費については計画的な職員採用及び新陳代謝により抑制していきたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。